

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		くらすびっつkids		公表日 令和7年3月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・午前と午後の2部制なので、1度に行う支援は少人数となるため十分なスペースがある。 ・活動しやすいように周囲には物をなるべく置かないようになっている。	・運動時にはできるだけ広いスペースをつくり様々な体の使い方ができるように工夫が必要に思う。 ・机上課題をする際にも個々のスペースを確保していきます。 ・もう少し広いスペースが確保できたら運動や課題などの種類を増やせるのではと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・午前と午後の2部制の少人数であるためそれぞれの子どもに合わせた対応ができています。	・午前と午後の2部制に分かれているので、個別対応や少人数での活動を充実させていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		・もう少し広いスペースが確保できたら運動や課題などの種類を増やせるのではと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・支援具や玩具は毎回消毒を行っている。 ・机や椅子はすぐに移動できるので活動に合わせて動かしている。 ・心地よく過ごしてもらるように努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・毎日ミーティングを行い、職員間で同じ対応ができるようにしている。 ・時間を設けて行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・保護者の意向を真摯に受け止められている。	・保護者の方からのご意見を頂きやすい環境作りを提供できるように考える。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・毎日ミーティングで情報共有したり、話し合いをしている。 ・日々のコミュニケーションを大切に取られている。 ・ミーティングやセッション終了後に気づいた点を話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・研修を行うことで、知識を深めたりスキルアップできるようにしている。 ・様々な研修が行われ、向上心を持って向き合っている。 ・定期的に事例検討を取り入れ困っている点などの共有をしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・保護者、職員間で共有し公表されている。 ・同じように重ならないように考えている。 ・個別の課題に応じて作成している。	・保護者の方全員に支援プログラムや公表していることを知っていただけるように伝える必要がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・日々のコミュニケーションを大切に、アセスメント時話しやすいように行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・ミーティングやその記録を残すことで職員間での情報共有ができています。 ・毎日話し合う時間を作っており全職員で共通理解できています。 ・1人ひとりのねらいを毎朝全職員全体で話し合い進めている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・支援計画を踏まえて取り組んでいる。 ・計画説明をミーティング内で説明し、共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・活動1つ1つにねらいをつくり、それを意識しながら支援している。	・ガイドラインも定期的に見直し、5領域の意識をもって計画を作成できるようにその都度職員全員に共有していく必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・毎日工夫しさまざまなプログラムを取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・こどもそれぞれに合わせて支援している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝のミーティングで役割の確認をしている。 ・毎日時間を作っており常に連携できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・毎日打ち合わせを行い全職員で共有できている。 ・気になる点など職員全体で振り返り、共有し、いない職員には日報や口頭で伝えている。	・伝え忘れないようノートにも書くようにするのを定着させていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・細かく記録することで、次の支援に繋げている。 ・さまざまなねらい1つ1つに対して細かく記録が取れている。 ・セッション終了後には必ず記入して終わらせている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・保育所等訪問や、気になる課題に関して連絡させていた たき、情報共有をさせていただいている。 ・常に連携し何かあった時はすぐに連絡できる環境である。	・まだまだ連携できる施設が限られているので、少しずつ増やしていけるように進める必要がある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・環境が変わる子どもに配慮ある支援が行われるように連携できている。	・学校や保護者の意向もあつたりするので、スムーズに進められたり難しかったりする部分もあるのではと思う。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	1		・少ないのでもう少し地域の子どもたちとの交流があってもいいのかなと思う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・お迎えの際に、保護者の方にフィードバック伝えている。 ・保護者への方への傾聴の姿勢を大切にしている。 ・気になることがある際は、時間をとって相談に応じている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		・保護者を集めての研修する機会は少なかつたりするので、もう少し広めていき知ってもらえるといいのかなと思う。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・わかりやすく丁寧に伝えている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0		・開催出来ている回数がまだ少ないので、保護者同士の交流を増やせたらと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・相談等あった場合は真摯に向き合い迅速な対応を心がけている。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・SNS等を利用いつでも情報を見てもらえる体制ができています。 ・SNSは積極的に発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・書類管理はもちろん、意識高くもとりおこなえている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・昨年の夏に地域の方を招いて夏祭りを行った。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・報告書を作成して、同じようなことが起こらないようにしている。 ・起きた場合はすぐ周知し、対策等迅速に対応している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・研修を行い全職員高い意識を持ち対応できている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・計画に記載し、説明を行っている。	